作成日　2010/02/20
改訂日　2021/8/26

製品安全データシート

１．　製品及び会社情報

製品名　：　スキットクロス
スキットクロスワイド
スキットクロスワイドＳ

会社名　：　オオサキメディカル株式会社

住所　：　〒452-0812
愛知県名古屋市西区玉池町 203 番地

電話番号　：　0120-15-0039

２．　危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性　：　分類できない

［含浸液］

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	：	区分外
	急性毒性（経皮）	：	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	：	分類できない
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	：	分類できない
	呼吸感作性	：	分類できない
	皮膚感作性	：	分類できない
	生殖細胞変異原性	：	分類できない
	発がん性	：	分類できない
	特定標的臓器毒性／全身毒性（単回ばく露）	：	区分外
	特定標的臓器毒性／全身毒性（反復暴露）	：	区分外
	吸引性呼吸器有害性	：	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性毒性	：	分類できない
	水生環境慢性毒性	：	分類できない

危険有害性情報　：　情報なし

３．　組成、成分情報

単一製品・混合物の区分　：混合物

成分名	含有量（w/w%）	CAS No.
第四級アンモニウム塩	非公開	非公開
PHMB	非公開	非公開
界面活性剤	非公開	非公開
ｐｈ調整剤	非公開	非公開
その他成分	非公開	－

４．　応急処置

吸入した場合　：蒸気を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動させる。

皮膚に付着した場合　：皮膚に刺激が生じた場合、清浄な水と石鹸で洗浄し、医師の診断を受ける。

目に入った場合　：含浸液が目に入った場合は、直ちに清浄な水で 15 分以上洗眼した後、必要に応じて医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合　：液を飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄する。

５．　火災時の措置

消火剤　：水、粉末消火剤、泡消火剤などを用いる。

使ってはならない消火剤　：特になし

火災時の特定危険有害性　：特になし

特有の消火方法　：特になし

消火を行う者の保護　：消火作業の際は、必要に応じて適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

６．　漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置
：　密閉された室内の場合、処置が終るまで、十分換気する。

環境に対する注意事項　：　大量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材　：　空容器に回収する。

二次災害の防止策　：　付近の着火源となるものを取り除く。
火花を発生しない安全な用具を使用する。

７．　取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

局所排気・全体換気　：　取扱いは換気の良い場所で行う。

安全取扱い注意事項　：　人体には使用しないでください。
手あれ防止のため、グローブを着用してください。
せっけん類は、除菌効果を弱めるため、せっけん成分を除去してから使用してください。
塗装・印刷面などに使用するとにじみや変色する恐れがあるため、目立たない所で確認してから使用してください。
目に入った場合はすぐに水で洗い流してください。
水に溶けないため、トイレには流さないでください。
衛生的に使用するため、詰替えは容器の中の汚れを拭き取り、乾燥させてから清潔に行ってください。
皮膚などに異常が見られる場合は、直ちに使用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

保管

保管条件　：　乾燥を防ぐため、専用容器を使用し、使用後はキャップをきちんと閉めてください。
高温・多湿や直射日光の当たる場所を避け、乳幼児の手の届かない所に衛生的に保管し、開封後はなるべく早く使用してください。

容器包装材料　：　記載すべき情報がありません。

８．　暴露防止及び保護措置

管理濃度　：　（製品データ）　設定されていない

成分データ　：　（成分データ）　設定されていない

設備対策　：　通常の取扱いでは必要なし。

保護具

呼吸器の保護具　：　通常の取扱いでは必要なし。

手の保護具　：　通常の取扱いでは必要なし。状況に応じて保護手袋を使用する。

目の保護具　：　人体には使用しない。

皮膚及び身体の保護具　：　人体には使用しない。

９．　物理的及び化学的性質

外観

物理的状態、形状、色など　：　固体、透明液体含浸不織布（白色）

におい	：	原料臭
pH	：	5.5～6.5（含浸液）
沸点	：	データなし
融点	：	データなし
引火点	：	データなし
発火点	：	データなし
爆発限界	：	データなし
比重	：	0.996～1.006（含浸液）
水に対する溶解性	：	含浸液は可溶

１０．　安定性及び反応性

安定性	：	通常の取扱い条件においては安定で危険性はない。
危険有害性反応の可能性	：	データなし
避けるべき条件	：	データなし
混触危険物質	：	データなし
危険有害分解生成物	：	データなし

１１．　有害性情報

急性毒性（経口）　：（製品データ）データなし　毒性推定計算値より区分外

（経皮）　：（製品データ）データなし

皮膚腐食性／刺激性　：（製品データ）データなし

目に対する重篤な損傷／刺激性

：（製品データ）データなし

呼吸器感作性　：（製品データ）データなし

皮膚感作性　：（製品データ）データなし

生殖細胞変異原性　：（製品データ）データなし

発がん性　：（製品データ）データなし

特定標的臓器/全身毒性―単回暴露

：（製品データ）データなし

混合物の各成分の合計による分類より　区分外

特定標的臓器/全身毒性―反復暴露

：（製品データ）データなし

混合物の各成分の合計による分類より　区分外

吸引性呼吸器有害性　：（製品データ）データなし

１２．　環境影響情報

水生環境急性有害性　：（製品データ）データなし
水生環境慢性有害性　：（製品データ）データなし
残留性／分解性　：（製品データ）データなし
生体蓄積性　：（製品データ）データなし
土壌中の移動性　：（製品データ）データなし
他の有害影響　：（製品データ）データなし

１３．　廃棄上の注意

残余廃棄物　：　内容物の廃棄は、焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装　：　空容器を廃棄するときは、内容物を処理した後処分する。

１４．　輸送上の注意

国内規制
輸送の特定の安全対策及び条件
直射日光を避ける。高温体との接触を避ける。

１５．　適用法令

労働安全衛生法　：　該当しない
化審法　：　該当しない
消防法　：　該当しない
船舶安全法　：　該当しない
航空法　：　該当しない

１６．　その他の情報

本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。

本製品を推奨用途以外に使用したい場合は、使用が用途に合致しない場合もありますので事前に弊社に相談してください。

また、SDS 記載内容について十分注意を払っておりますが、その内容を保証するものではありません。